

日本史 A

(解答番号 ~)

第1問 ある高校生が、日本史の体験学習で地元の県立文書館をおとずれたときの文書館員との次の会話文を読み、下の問い(問1～3)に答えよ。(配点 8)

高校生：図書館はよく利用しますが、文書館に来るのははじめてです。どこが違うのか教えてください。

館員：図書館の郷土資料室でも歴史を調べられますが、出版された本を利用することが多いですね。文書館は、歴史を本格的に調べようとするときに、㉑もとになる歴史資料を中心に利用してもらう施設です。

高校生：もとになる歴史資料ですか？

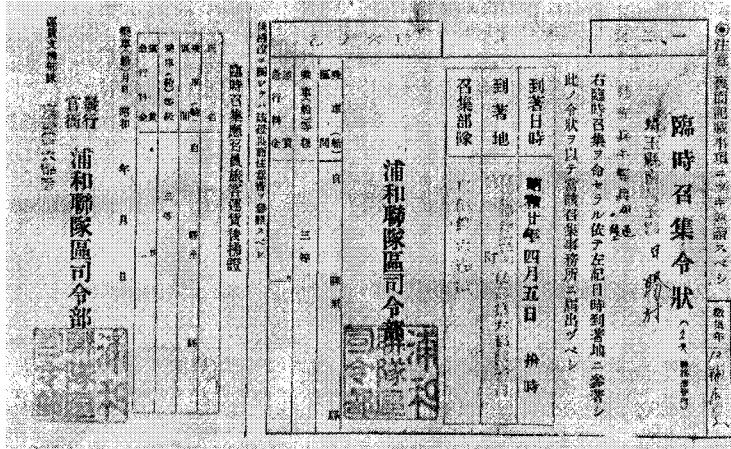
館員：そうです。こちらに昭和期の戦争に関する資料を展示していますので見てください。こうした実際の資料を見ると、歴史の生々しさが伝わってきますね。また、文書館では㉒長い歴史のなかで戦災や自然災害などを免れて伝えた古文書の保存に加えて、県庁で用いられているたくさんの書類の中から重要なものを選んで保存し、未来に伝える役割も果たしています。ただ、まだ設置が進んでいない県もあります。

高校生：その場合の資料はどうなるのですか。

館員：大切な資料が失われていく可能性があります。㉓県立の文書館だけでなく、さまざまな形で歴史を未来に伝える努力は続けられています。

高校生：資料を残す努力があつてこそ、資料は残っているのですね。ご説明ありがとうございました。

問 1 下線部②に関連して、ある歴史資料を撮影した次の写真について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 1



- ① この歴史資料は、国民に徴兵検査を受けることを命ずる文書である。
- ② この歴史資料は、軍隊に志願する者が提出する文書である。
- ③ この歴史資料は、赤色の紙が用いられたので俗に「赤紙」とよばれた。
- ④ この歴史資料は、自衛隊の設置にともない作成された。

日本史 A

問 2 下線部㉑に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

Ⅰ 土族の反乱が鹿児島で起こると、島津家伝来の重要文書は、戦火を避けるために城外に移された。

Ⅱ 平田篤胤らの活動によって国学が普及し、日本古来の姿を伝える古文書の収集・保存を促進する契機となった。

Ⅲ 応仁の乱によって、京都の朝廷や公家の伝来文書が数多く失われた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部㉒に関連して述べた次の文 X・Y と、それに該当する県名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

X 板垣退助の出身地であるこの県には、自由民権運動の資料を収集して保存・活用するために、市立の記念館が設立された。

Y 禁門の変で敗北したものの明治維新で大きな役割を果たした藩があったこの県には、その藩の古文書を受け入れることを機に、県立の文書館が設立された。

a 佐賀県 b 高知県 c 山口県 d 広島県

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

第 2 問 幕末・明治期の西洋との出会いと文化の導入に関する次の文章 A・B を読み、下の問い(問 1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 18)

A 次の史料 1 は、ペリー艦隊が 1853 年にはじめて浦賀に来航したときのペリー側の記録、史料 2 は、翌年再来航したときに浦賀奉行(浦賀に置かれた幕府の奉行)が出した触(指示)である。

史料 1 (ペリーの)艦隊が水道を通過して浦賀の内湾に入った時には、多数の漁船が急いで逃げて行った。又その乗組員^{たち}達は、自分達が十分に安全な距離のところまで来たと思うと櫓^ろを漕^こぐ手を休め、心配そうな顔付をして凝^じっと外来人達をみつめていた。(中略)(さらにペリー艦隊は江戸湾の中に進み、その測量隊のボートが川に入り)航進してゆくうちに、外国人を見たいと云う好奇心を満足させようとして岸に集まって来た住民の群に出会った。人民^あの或る者はあらゆる身振り^{てまね}で歓迎の意を表してボート^{あいさつ}に挨拶をし、ボートへ喜んで水とすばらしい梨^{なし}を幾個か提供してくれた。(土屋喬雄・玉城肇訳『ペルリ提督 日本遠征記』)

史料 2 異国船碇泊^{ていはく}の場所へ、小舟^{みだ}にて猥^{そうろう}りに近付き候ものもこれ有るやにて、右は御国法^{わきま}を弁^いえず、如何^かの事に候。以来、右体の輩^{みぎてい}(注)見請^{ともがら}け次第^{みう}捕り押さえ、厳敷^{きびし}く申し付くべく候。(『大日本古文書 幕末外国関係文書』)

(注) 右体の輩：このような人々

日本史 A

問 1 史料 1・2 を読み、ペリー来航に対する当時の人々や幕府の対応について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 浦賀周辺の漁民のなかには、ペリー艦隊の巨大な黒船を見て逃げた者がいた。
- ② 江戸湾周辺の住民はふだん外国人と接触する機会はなかったが、ペリー一行と交流しようとする者もいた。
- ③ ペリー艦隊が碇泊していた場所に、小舟に乗って近づこうとした者がいた。
- ④ 幕府はペリー艦隊との紛争を避け、民衆にペリー一行とできるだけ交流するように指示した。

問 2 最初にペリーが来航してから翌年再来航するまでに幕府がとった対応について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 老中阿部正弘が諸大名に対し、アメリカ大統領国書への対応についての意見を求めた。
- ② 沿岸に近づいた欧米諸国の船への砲撃を命じる異国船打払令を出した。
- ③ 異国船に対する幕府の対応を批判した渡辺崋山らを処罰した。
- ④ 領事裁判権の規定のある条約をアメリカと結んだ。

問 3 ペリー来航以後の政治情勢に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

6

- I 坂本竜馬らの仲介により、薩長同盟(連合)が結ばれた。
- II 井伊直弼が大老に就任し、反対派を厳しく弾圧した。
- III 八月十八日の政変により、長州藩の勢力が京都から追放された。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
- ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I



日本史 A

B 西洋近代文化の導入にともなう伝統的価値観との葛藤^{かつとう}は、教育の分野でもみられた。江戸時代には諸藩や民間でも独自に教育が行われていた。そうした伝統のうえに新政府は近代的な学校制度を導入しようとし、①1872年にはフランスの制度を参考に学制が公布されたが、その実施にあたってはさまざまな問題もあった。下の図は、小学校教育が始まったころの授業の様子を描いたものである。

学制では音楽教育も規定されていたが、準備ができていないために、当初は小学校で実施されなかった。その後、文部省は西洋音楽を導入する方策を模索し、学校での音楽教育の教材として多くの歌が作られ、それらは **ア** とよばれた。こうした教育をうけたうえで東京音楽学校に学んだ **イ** は、日本的な感覚を生かしつつ、西洋音楽の技法による芸術性の高い音楽作品を創作した。



写真

問 4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 唱歌 イ 滝廉太郎 ② ア 唱歌 イ 鈴木三重吉
 ③ ア 歌謡曲 イ 滝廉太郎 ④ ア 歌謡曲 イ 鈴木三重吉

問 5 図を参考にしながら、学制が実施されたころの小学校の授業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① おもにお雇い外国人により英語で授業が行われた。
 ② 文部省が編集した国定教科書を使って授業が行われた。
 ③ 男子も女子も学んでいた。
 ④ 児童は教育勅語を暗唱させられた。

問 6 下線部②に関連して、学制の実施にあたっては民衆の反対運動もみられた。その原因について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 学制布告の中に「血税」の語があったため。
 ② 学校の建設費や授業料が民衆の負担とされたため。
 ③ 学校にキリスト教禁止の掲示が掲げられたため。
 ④ 華族・士族のみで平民は教育を受けられなかったため。

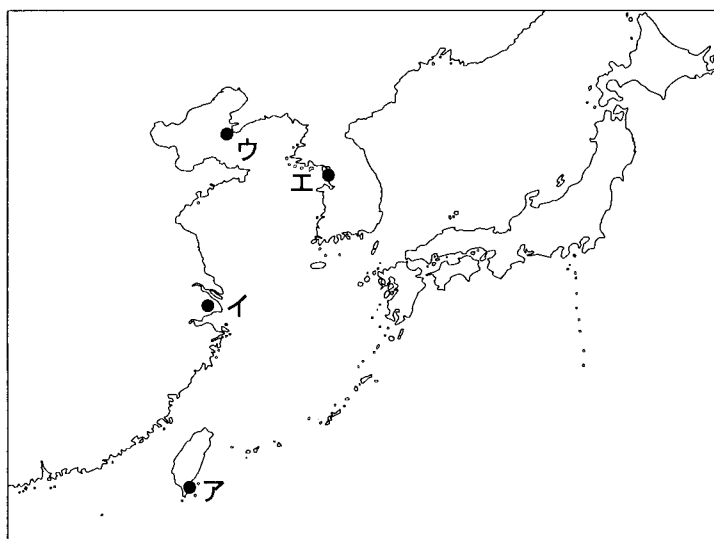
日本史A

第3問 明治時代の外交に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 15)

A 明治政府が成立すると、日本は周辺の諸国・地域との関係を再編成した。近世に正式な国交がなかった清国とは1871年に日清修好条規を結んだが、その批准の可否が問題となっている間に、㉑ 琉球の宮古島の島民らが漂着先で殺害される事件が起こった。政府では対応策が議論されたが、結局㉒ 大久保利通を中心とする政権のもとで、事件が起こった地域に対する出兵が行われた。

また1875年には、㉓ 日本軍艦の挑発による武力衝突事件が起こり、これをきっかけに翌年には日本の威圧のもとで日朝修好条規が結ばれた。その後、日本が朝鮮に対する進出の度合いを強めていくと、朝鮮の宗主国の立場をとる清国と日本との対立がしだいに深まり、㉔ 甲申事変などが起こった。

問1 下線部㉑および㉓の事件が起こった場所を次の地図中のア～エから選び、その組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10



- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ㉑ | ア | ㉓ | ウ | ② | ㉑ | ア | ㉓ | エ |
| ③ | ㉑ | イ | ㉓ | ウ | ④ | ㉑ | イ | ㉓ | エ |

問 2 下線部㉑に関連して、当時の国内状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 内閣総理大臣を首班として政治が運営されていた。
- ② 政府への批判をかわすために、国会開設の勅諭が出された。
- ③ 征韓論をめぐる政変により、西郷隆盛らが下野していた。
- ④ 困民党を中心として困窮農民らが蜂起し、政府軍がこれを鎮圧した。

問 3 下線部㉒に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 金玉均ら朝鮮の開化派(独立党)が日本の支援を得てクーデタを起こした。
- ② 清国軍がクーデタ鎮圧に動き、日清間の対立が深まった。
- ③ この事変の結果、清国は朝鮮が独立国であることを公式に認めた。
- ④ この事変ののち、福沢諭吉は「脱亜論」を主張した。

日本史 A

B 江戸時代後期より日本列島の北方から進出してきたロシアとの関係が問題となり、幕末から明治時代にかけて、㉔日本とロシアとの間で結ばれたいくつかの条約によって両国間の国境がそのつど定められた。明治政府は、北海道に対する統治を確実にを行うため、開拓使を設けて屯田兵を配置し、㉕先住民族であるアイヌに対する政策を進めていった。

問 4 下線部㉔に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

Ⅰ 千島全島を日本領とし、^{シコムシユ}占守島とカムチャツカ半島との間を国境とした。

Ⅱ 樺太(サハリン)のほぼ中央の北緯 50 度を国境とした。

Ⅲ ^{エトロフ}択捉島と^{ウルツフ}得撫島との間を国境とした。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 5 下線部㉕に関連して、アイヌに関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 明治政府が成立すると、アイヌとの交易の独占を目的として開拓使が設置された。
- ② 明治時代に政府は、アイヌの生活・風俗を日本化しようとする同化政策を進めていった。
- ③ 明治時代に政府は、アイヌを中心として屯田兵を編成した。
- ④ 第二次世界大戦後、アイヌに対する差別の解消をはかるため、北海道旧上人保護法が制定された。

第 4 問 近代の政治・社会に関する次の文章を読み、下の問い(問 1～4)に答えよ。(配点 12)

普通選挙制とは、財産・納税額・身分・性別などによる制限なしに選挙権・被選挙権を認める制度をいう。①普選運動が国民の支持を得て広がっていき、政府が対応を迫られていくなかで、 内閣は普通選挙法を成立させ、25 歳以上の男性には納税額に関係なく選挙権が与えられた。

だが、性別による差別は残された。明治期から②男女平等・女性の権利拡張を求める声はしだいに高まっていたが、女性の選挙権は認められなかったのである。

また、政府は同じ議会で を成立させ、普通選挙によって予想される無産階級の政治的進出をおさえようとした。 は戦前・戦中を通して、③社会主義や無政府主義の運動、政府に批判的な人々を取り締まるために用いられた。

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 加藤高明 イ 治安維持法 ② ア 加藤高明 イ 破壊活動防止法
③ ア 原 敬 イ 治安維持法 ④ ア 原 敬 イ 破壊活動防止法

問 2 下線部①に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- I 日本初の社会主義政党が結成され、普通選挙の実現をかかげた。
II 第二次護憲運動が展開された。
III 選挙権の納税資格が直接国税 3 円以上に引き下げられた。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

日本史 A

問 3 下線部⑥に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する人物 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 17 |
|----|

X 自由民権運動に活躍したが、大阪事件で逮捕・投獄された。

Y 無政府主義に傾倒し、関東大震災のときに甘粕正彦憲兵大尉らに殺害された。

a 景山(福田)英子 b 市川房枝 c 与謝野晶子 d 伊藤野枝

① X — a Y — c ② X — a Y — d

③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 4 下線部⑦に関連して、日中戦争勃発前後の社会動向に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 18 |
|----|

X 政府による思想弾圧は宗教にもおよび、キリスト教や国家神道が迫害をうけた。

Y 人民戦線事件で経済学者の大内兵衛らが検挙された。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

第5問 近代日本における代表的な外交官の一人であり、政治家としても活動した幣原喜重郎に関する次の文章 A～C を読み、下の問い(問 1～8)に答えよ。

(配点 23)

A 1872年、現在の大阪府門真^{かどま}市に生まれた幣原は、大学卒業後外務省に入省し、外交官としての経験を重ねた。第一次世界大戦下において外務次官に就任し、その後の内閣において①ロシア革命に対する日本軍の介入の事後処理などに従事した。その後駐米大使としてアメリカに赴任した幣原は、ワシントンで実施された国際会議において全権の一人として出席し、②海軍軍縮および中国大陸・太平洋における列強諸国との権益調整に尽力した。

問 1 下線部①に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19

X 日本は、イギリスなど他の派兵国よりも長期にわたって介入を継続した。
Y この軍事介入の影響で、国内の米価が下落し、困窮した農民が全国で騒擾^{そうじょう}を起こした。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

問 2 下線部②に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

I 国策の手段としての戦争の放棄を約した不戦条約に調印した。
II 補助艦の総保有量(トン数)を英・米の約7割とすることに合意した。
III 主力艦保有量(トン数)を英・米の5分の3に制限することに合意した。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ① I — II — III | ② I — III — II | ③ II — I — III |
| ④ II — III — I | ⑤ III — I — II | ⑥ III — II — I |

日本史 A

B ㉔ 幣原が外務大臣として活躍した期間は、一時の中断をはさんで 1924 年から 1931 年までの長期にわたるが、その間の外交方針はほぼ一貫しており㉕「幣原外交」とよばれた。軍縮条約への取組みなどにこうした姿勢は顕著である。しかしこのような幣原の外交方針は、対立勢力や㉖中国における日本軍の行動によって妨げられることになる。最終的に 1931 年、陸軍が中国東北部で起こした軍事行動などによって、幣原の外交路線は挫折した。

問 3 下線部㉔に関連して、1920 年代の日本は国内で社会運動が活発化した時期としても知られている。次の表を参考にしながら、この時期に農村で起こった小作争議に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

小作争議の件数と規模

| 年 \ 項目 | 小作争議件数 A | 参加小作人数 B | 1 件当たりの参加 小作人数 B/A |
|--------|-------------|-------------|-----------------------|
| 1920 年 | 408 | 34,605 | 84.8 |
| 1922 年 | 1,578 | 125,750 | 79.7 |
| 1924 年 | 1,532 | 110,920 | 72.4 |
| 1926 年 | 2,751 | 151,061 | 54.9 |
| 1928 年 | 1,866 | 75,136 | 40.3 |
| 1930 年 | 2,478 | 58,565 | 23.6 |
| 1932 年 | 3,414 | 61,499 | 18.0 |

(安藤良雄編『近代日本経済史要覧(第2版)』より作成)

X 普通選挙法が成立した前後の両年を比較すると、小作争議件数は増加をみせたが、その後は一時的に減少した。

Y 世界恐慌の影響が日本に波及した結果、困窮した農民による個々の争議が大規模化する傾向がみられた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 4 下線部㉑に関連して、幣原が外務大臣として推進した外交政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 米・英との協調のため、南満州鉄道株式会社の解散を決定した。
- ② 中国国民革命軍の北伐に対抗して、山東半島に出兵した。
- ③ 日ソ基本条約を締結し、ソ連との間に国交を樹立した。
- ④ 東アジアの結束を誘示するため大東亜会議を開催した。

問 5 下線部㉒に関連して、1920年代から30年代にかけての日本軍の国外活動に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

- Ⅰ 日本軍が中国の都市南京を占領するに際して、捕虜や非戦闘員を殺害する事件が起きた。
- Ⅱ 中国東北部での日本軍の活動に対して、国際連盟からリットン調査団が派遣された。
- Ⅲ 関東軍参謀河本大作らが、中国軍閥の一人である張作霖を、奉天郊外において爆殺した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史A

C 戦後、幣原は知米家としての経歴を買われ、内閣総理大臣に就任した。幣原内閣は連合軍最高司令官総司令部(GHQ)のいわゆる五大改革指令の実現に取り組んだほか、新憲法草案の作成や天皇の神格を否定する詔書の草案作成にも携わるなど、①戦後改革の中心的政策を次々と実施した内閣であったといえる。また、②終戦直後の物価上昇や食糧危機への対策にもつとめたが、1946年4月に実施された戦後初の総選挙において勝利することができず、総辞職した。幣原は、その後も衆議院議長などを歴任し、1951年3月に78歳で没した。③講和条約が調印される約半年前のことであった。

問 6 下線部①に関連して、戦後改革期に実施された諸施策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① GHQにより労働組合の結成が奨励され、労働条件改善を目的とする労働基準法が制定された。
- ② 特別高等警察の廃止や、共産党員などの政治犯の釈放が行われた。
- ③ 経済機構の民主化の一環として、独占禁止法が制定された。
- ④ GHQにより教育制度の自由主義的改革が指示され、修身教育が導入された。

問 7 下線部②に関連して、戦後改革期における経済対策に関して述べた次の文 X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

- X 降伏と同時に食糧の配給制度が全面的に廃止され、価格の統制も撤廃された。
- Y 物価上昇を抑制するため、金融緊急措置令によって国民の預金が封鎖された。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問 8 下線部①に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

| |
|----|
| 26 |
|----|

- ① この条約調印と同時に小笠原諸島が返還された。
- ② この条約調印をきっかけとして、警察予備隊が発足した。
- ③ この条約の調印と同じ日に、日米安全保障条約が調印された。
- ④ この条約の調印には、ソ連を除くすべての交戦国が参加した。

日本史A

第6問 近代の政治と社会に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 24)

A 1889年2月、大日本帝国憲法の発布により、を統治権の総攬^{そうらん}(注)者と定め、議会制の導入を踏まえた近代国家としての制度的枠組みが決定された。翌年には、㉑ 大日本帝国憲法と同時に制定された衆議院議員選挙法にもとづき、第1回総選挙が行われ、自由民権運動の流れをくむ民党が衆議院の過半数を占めた。これに対して政府は、超然主義をかかげて軍拡政策を進め、民党と鋭く対立した。

1892年、第2次内閣が成立すると、首相は自由党と接近し、第4議会において、内閣と議会との協力を求める詔書を天皇に出させて、海軍拡張費を柱とする予算案の成立に成功する。以後、自由党は政府の積極政策に協力して与党色を強めていく。そして、㉒ 政府と議会との対立の中心は、野党にとどまった立憲改進黨などとの間で繰り広げられる条約改正問題へと移行していった。

(注) 総攬：一手に掌握すること

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 内閣総理大臣 イ 伊藤博文
- ② ア 内閣総理大臣 イ 山県有朋
- ③ ア 天皇 イ 伊藤博文
- ④ ア 天皇 イ 山県有朋

問 2 下線部㉔に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 内閣総理大臣は、衆議院第 1 党の党首とすることが憲法に明記された。
- ② 第 1 回総選挙の有権者数は、当時の総人口の約 1.1 % にあたる。
- ③ 第 1 回総選挙のころ、政府を支持する政党は吏党とよばれた。
- ④ 民党議員の多くは、地方の地主層を支持基盤とする者たちであった。

問 3 下線部㉕に関連して、政府が進めた条約改正交渉の経過に関して述べた次の文 I ～ III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- I 大審院に限定した外国人判事の任用を条件に交渉を進めた。
- II 関税自主権の完全回復を実現した。
- III 交渉を容易にするため、極端な欧化政策を進めた。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
- ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

日本史A

B 1901年、官僚勢力をはじめ、陸軍や貴族院を支持基盤とする長州閥の桂太郎が内閣を組織して以後、㉓ 桂と立憲政友会総裁の西園寺公望とが、妥協と対立を重ねながら政権を交互に担当する桂園時代が幕を開ける。こうして、維新の元勳であった伊藤博文や山県有朋は政界の表舞台から退いた。

1912年、第2次西園寺内閣が、財政悪化を理由に陸軍の2個師団増設要求を拒否したことから、陸軍の抵抗にあい総辞職に追い込まれた。代わって桂太郎が3度目の内閣を組織すると、国民の間には、陸軍・藩閥の横暴だとする強い反発が起き、立憲政友会の尾崎行雄や立憲国民党の らの政治家、言論人を中心に「憲政擁護」「閥族打破」を唱える憲政擁護運動が展開された。

この憲政擁護運動によって、翌年2月、桂内閣が、成立から50日あまりで退陣すると、薩摩藩出身の が立憲政友会を与党として内閣を組織し、㉔ 軍部大臣の現役武官規定を撤廃するなど改革を進めた。

問4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 高橋是清 エ 寺内正毅
- ② ウ 高橋是清 エ 山本権兵衛
- ③ ウ 犬養毅 エ 寺内正毅
- ④ ウ 犬養毅 エ 山本権兵衛

問 5 下線部㉔に関連して、この期間に起こった出来事に関して述べた次の文 I ～ III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

- I 政府は、韓国に併合条約を結ばせ植民地とした。
- II キリスト教徒の内村鑑三が、『万朝報』で非戦論の論陣をはった。
- III 講和条件に不満を募らせた民衆が、日比谷焼き打ち事件を起こした。

- ① I — II — III
- ② I — III — II
- ③ II — I — III
- ④ II — III — I
- ⑤ III — I — II
- ⑥ III — II — I

問 6 下線部㉕に関して述べた次の文 X ・ Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

- X 軍部大臣の現役武官規定の撤廃により、政党员から陸軍大臣・海軍大臣が任用された。
- Y 軍部大臣の現役武官規定が復活するのは、二・二六事件後に成立した広田弘毅内閣のときである。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

日本史 A

C 第一次世界大戦中から世界的にデモクラシーの気運が高まった。このような気運を政治思想の面から発展させた人物に吉野作造がいる。次の史料は、『中央公論』に掲載された吉野の代表的論文の一節である。

憲政の根柢こんていとなすところのものは、政治上一般民衆を重んじ、その間に貴賤きせん上下の別を立てず、しかも国体の君主制たると共和制たるとを問わず、普あまねく通用するところの主義たるが故に、民本主義という比較的新しい用語が一番適当であるかと思う。(中略)

(デモクラシーという)この言葉は今日の政治法律等の学問上においては、少なくとも二つの異なった意味に用いられて居るように思う。一つは「国家の主権は法理上人民に在り」という意味に、また、も一つは「国家の主権の活動の基本的目標は政治上人民に在るべし」という意味に用いらる。この第二の意味に用いらる時に、我々はこれを民本主義と訳するのである。

(「憲政の本義を説いてその有終なの美みちを済すの途を論ず」)

さらに吉野は、言論の自由の擁護、労働運動の自由化、朝鮮統治政策への批判などリベラルな主張を積極的に展開して、㉔大正デモクラシー期の社会に大きな影響を与えた。

問 7 下線部㉔に関連して、大正デモクラシー期の社会の動向について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 33 |
|----|

- ① 子どもの個性や自発性を重んじる自由教育運動が、各地で展開された。
- ② 政府の国体明徴声明をうけて、美濃部達吉が天皇機関説を展開した。
- ③ 友愛会が労働組合の全国組織として発展し、日本労働総同盟と改称した。
- ④ 差別に苦しむ部落の人々が、自らの尊厳と自由・平等を求めて全国水平社を結成した。

問 8 史料の内容に関して述べた次の文 a ~ d について、その内容の説明として正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 34

- a 民本主義とは、君主制・共和制という体制の相違は問題としない考え方である。
- b 民本主義とは、君主制には敵対する考え方である。
- c 民本主義とは、国家の主権の活動の基本的目標を人民におくという考え方である。
- d 民本主義とは、国家の主権は人民にあるという考え方である。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。

日本一の学校情報



<http://www.js88.com>

インターネット塾・予備校情報サイト



<http://jyuku.js88.com>